

奈良先端科学技術大学院大学における地域連携の取組について



奈良先端科学技術大学院大学

奈良先端科学技術大学院大学の地域連携方針

奈良先端科学技術大学院大学では、2030年を見据えた学長ビジョン2030の中で、科学技術による社会貢献を重視する方針を掲げており、その一環として地域共創に注力することとしています。

現在、地域共創を実現すべく、地域の金融機関である「南都銀行」の協力のもと、イノベーション・commonsの実現を目指しており、2021年には「地域共創推進室」を設置したところです。

この地域共創推進室を、自治体や産業界との一元窓口として有効に機能させることで、研究成果で地域貢献する大学へと進化させようとしています。

PICK UP

大学の研究者



ユビキタスコンピューティングシステム研究室

松田 裕貴 助教(左)
立花 巧樹 (学生・右)



■ 主な研究内容

シビックコンピューティング、モバイルコンピューティング、ウェアラブルコンピューティング、ユーザ参加型センシング、位置情報システム、行動分析・行動認識、ヘルスケア等

※研究者の経歴等は

(URL: <https://yukimat.jp/>)をご参照下さい。

デジタル技術の活用 (装置・デバイス、 データ分析)



地域連携事例集にも掲載されています。

地域課題解決に向けた活用例

■ 活用分野

環境、防災・防犯

■ 活用例

- ・ センサシステムを搭載したIoTによる環境改善
- ・ 人流シミュレーション等による、災害時の避難経路確保

地域との連携形態について

地域との連携形態

本学では、自治体や地元企業、周辺の教育機関と様々な連携の形をとり地域課題解決に取り組んでいます。
自治体とは、包括協定、連携協定、コンソーシアムへの参画並びにコーディネータの依頼等、地元企業とは、共同・受託研究、受託試験並びに学術指導等を実施しています。



地域との連携実績について

地域との連携実績

奈良県生駒市に所在する本学において、奈良県、生駒市との包括協定締結や奈良市との連携協定締結をはじめ、奈良県下の市町村との連携を拡張しつつあります。

特に奈良県の地場産業活性化に向け、本学の研究成果の活用や企業との連携も含めた産官学連携を強化しています。

過去の連携実績

年度	件数	主な連携事例
2023年	6件	奈良市との連携(共同研究補助事業)、奈良市の地元企業と本学との共同研究 奈良県との共同研究事業(デジタルデバйд対策事業、機能性成分の効果検証事業、奈良式柿タンニンの品質安定化、土地の管理・利用に関するデータ分析事業)
2022年	3件	四条畷市との高齢者見守りアプリの実証実験 生駒市と乗り捨て可能EVカーシェアリングシステムの拡大やセンサ装着型トングを用いたゴミ拾いの可視化によるごみの種別・エリア特定などの課題解決と、環境問題への関心を高める活動を支援

連絡先

奈良先端科学技術大学院大学 地域共創推進室

TEL: 0743-72-5090

Mail: co-creation-naist@ad.naist.jp